学校番号	3025

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　歴史総合」　（帝国書院）						
副教材等	「明解　歴総合図説　シンフォニア」（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代に生きる私たちが、近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する活動に主体的に取り組むことで、日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めてほしいと思います。そのための知識の定着、レポート課題、グループワークなど様々な取り組みに前向きに取り組みましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代の諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察し，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や，考察，構想したことを効果的に説明し，それらを基に議論する力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度や，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1部　歴史の扉	第1部 歴史の扉 ①　歴史と私たち 歴史の特質と資料	a：私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。また、日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物，文書，図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。 b：近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と関わらせて私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現する。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

	2部 近代化と私たち	2章 欧米諸国における近代化 3章 近代化の進展と国民国家形成 4章 アジア諸国の動揺と日本の開国 5章 近代化が進む日本と東アジア	a: 18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解する。 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b: 18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

			・帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			
2学期	3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	序章　国際秩序の変化や大衆化への問い	・自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点から主題を設定し，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。 ・事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し，表現する。 ・諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。 a：国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の 変化などに関する資料から情報を読取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 b：国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

	3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	1章第一次世界大戦と日本の対応 2章　国際協調と大衆社会の広がり	a:・第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 b:第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

	3部　国際秩序の変化や大衆化と私たち	3章　日本の行方と第二次世界大戦 4章　再出発する世界と日本	a：世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解する。 ・第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 b：経済危機発生の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較し，相互に関連付け，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し表現する。 ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較し，相互に関連付け，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し表現する。 c：諸資料を活用し，課題の探究活動に主体的に取り組む a:・自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点から主題を設定し，現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 b：事象の背景や原因，結果や影	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

			響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，主題について多面的・多角的に考察し表現する。 c：諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

3学期	4部 グローバル化と私たち	序章 グローバル化への問い 1章 冷戦で揺れる世界と日本 2章 多極化する世界	a: 冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解する。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 b: グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。 ・地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。 ・冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する c: 諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	小テスト 定期考査	発問評価 定期考査	授業態度 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度